

## 広報広聴常任委員会記録

日 時 令和2年4月15日（水曜日）13時30分～14時10分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、金木副委員長、小寺委員、舟見委員、工藤委員、森議長  
ワザハバー 船本議員、磯野議員、平山議員、逢坂議員、村田議員

事務局 豊島局長、嶋元係長

報 道 羽幌タイムス社

阿部委員長（開会） 13:30～13:31

時間となりましたので、ただいまから広報広聴常任委員会を開催いたします。

本日の議題は、1つ目が町民との意見交換会について、2つ目が議会による町民アンケートの実施について議題といたします。1つ目も2つ目も資料等を用意しておりますので、そちらのほうを見ながら協議を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

### 1 町民との意見交換会について

#### （1）日時・場所

阿部委員長（説明） 13:31～13:32

それではまず、資料1枚目、1の町民との意見交換会について。

新型コロナウイルスの影響で、町内外の各事業、イベント等が中止・延期となっており、意見交換会についても当初予定していた時期について見直す必要があると考えており、開催方法についても引き続き広報広聴常任委員会の中で協議していきたいと考えています。

（1）の日時・場所についてですが、先ほど言いましたように、各イベント等が中止となっておりますので、意見交換会についても延期をしたほうがいいのかと思っておりますが、時期的にいつごろというのは非常に難しい部分もありますので、これについては8月ではなく、秋以降にするということでもまず考えておいていいでしょうか。そして、その時期になってもまだ収まっていなかった場合は、当然さらに延期ということにもなりますし、また、冬場に収まっていたとしても高齢者を対象としていますので、その場合にも時期のほうを見直していきたいと思っておりますので、よろしいですか。

場所についても開催時期が決まり次第調整していきたいと思っております。

(2) 意見交換会対象者等について

阿部委員長（説明） 13:32～13:33

次に（2）の意見交換会。

対象者については以前から決めており、高齢者が対象となっております。

開催方法、開催回数等は前回の委員会の中でも意見として出ておりました、その中の意見として対象者の年齢は65歳以上からがいいのではないかとあったり、75歳以上からであったり、年齢の区切りを設けずに高齢世代でいいのではないかなどといった意見も出ておりましたが、まずこちらについて再度協議していただきたいと思いますので、何か意見のある方は挙手でお願いいたします。

開催時期が延期になってしまいましたので多少余裕もありますし、今すぐということではないですが、ある程度絞って今後も進めたいと思いますので、もし何か意見のある方はお願いいたします。

－主な協議内容等（質疑）－ 13:33～13:49

小寺委員 今の感じで言うと、対象者を高齢者に絞った中ということですかね。それとも高齢者問わずにというふうになるのか。

阿部委員長 あくまでも高齢者ということで。

小寺委員 開催の時期はコロナがいつ収まるかにもよりますし、基本あまり集まらないというのが前提として時期が秋か冬になってくると、冬場は高齢者の移動が大変になるという話が昨年も出ています。その点を含め、もし時期がよほどずれるようであれば、対象者についてもちょっと考えるか、やることには変わらないと思うのですが、何か方法を考えなければならぬのかなど。やり方も含めてですね。そう思うのですが、どうでしょうか。

阿部委員長 ということは、高齢者ということでもなく、もし時期がずれて冬だとしたらほかの対象者に変えるとかそういう感じですか。

小寺委員 その辺はもう一度フラットに考えても最優先は高齢者ですが、高齢者にこだわっていくと開催自体できなくなることもあるのかなと思って

いて、1つの方法として、開催できる状況になったときに参加しやすい対象者で考えていくのもあるのかなと思います。当然、対象を高齢者に絞り、高齢者が参加しやすい時期まで待つ方法もあると思いますし、高齢者がダメということではありません。

工藤委員 確か議会だよりで1度、今回は高齢者の意見交換会を開催するというのを皆さんにお知らせしていると思うので、まず高齢者という部分は変えないほうがいいと思います。年齢については幅広い方に来ていただくために、65歳以上を対象とするのがいいのではないかと思います。以上です。

金木副委員長 当初8月ごろやろうかという話だったのが、こういった状況で早くても秋以降になってしまいそうだということで、その中で対象とする年齢を具体的にどうしようというのも、ちょっと意見が出しづらい部分もあるのかと。もうちょっと時期がはっきりした段階で、対象者も合わせて具体化するということで充分時間はあるのではないかと思いますし、今は何歳以上というのもちょっと言いづらい部分ではあると思います。

阿部委員長 時期がある程度決まり次第、そちらのほうも再度協議するという感じで。はい。ちなみに小寺委員は、例えば高齢者の年齢的な部分というのは。

小寺委員 ええ、高齢者ということで65歳からでいいのではないかと思います。

阿部委員長 特別区切ることもなく。

小寺委員 はい。

阿部委員長 はいわかりました。舟見委員どうですか。

舟見委員 小寺委員が言われた通りで、同じような意見です。

阿部委員長 議長はどうですか。

森議長 時間は随分あるし、その間に広報広聴常任委員会も何度となく開くことがありそうなので、そのタイミングを見計らって進めていけばいいのではないかと思います。

阿部委員長 高齢者でやるということに変わりはないので、開催時期がいつになるのか正直見通しが立たない部分もありますし、これについては時間をかけて決めていくということによろしいですか。(はい。の声)

(休憩 13:40~13:45)

阿部委員長 対象者の年齢につきましては、まだ開催時期等がはっきりと決まっていない部分もありますので、これについては委員会を重ねながら決めていきたいと思いますが、よろしいですか。(はい。の声)

阿部委員長 もう1つ。開催回数についてもいろいろと意見があって、例えば複数回行ったほうがいいのではないかとあったり、地域・地区ごとに行ったほうがいいのではなかったり、1回だけでといった話もありましたけれども、これについても、やはりまだ時期的にいつ開催というのははっきりと決まっていない部分もありますので、ある程度時間をかけながら、対象者の年齢等と合わせて今後決めていきたいと思いますが、どうでしょうか。(いいです。の声)

阿部委員長 例えば、地域・地区ごとにやった場合で、会場を借りなければならない場合に、当然利用料金などが発生すると思います。それについて予算はついていないのですよね、確か。

(休憩 13:47~13:48)

阿部委員長 会場使用料等については、今事務局長のほうに確認していただきまして、予算としては見ていないとのことでした。

森議長 休憩中の発言ということで、先ほど発言させていただいたのですけれども、いろいろな事業が今年は予定通りできないことがありますので、予算については柔軟に使うということも念頭に、今後進めていかなければならないと思っておりますので、その都度協議しながら進めていけばいいと思います。

阿部委員長 開催回数等については、また対象者の年齢等も合わせて時間をかけて決めていきたいと思ひますし、会場使用料についても予算の部分で柔軟に考えられるところは考えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。開催テーマについてもどうしますかね。ここで私が決めてしまうものなのか、またそれについても同じように今後ということでもいいですか。(なし。の声)

### (3) 周知方法

阿部委員長(説明) 13:49~13:49

次の周知方法についても、同様にこれから考えるということで。多分やれるとしたら、今まで通り回覧板のほうに載せることであつたり、タイミングが合えば議会だよりに載せていきたいと思ひますので。ほかによろしいでしょうか。

— 主な協議内容等(質疑) — 13:50~13:51

小寺委員 それ以外には毎回各団体だとか、例えば高齢者団体とかが各地区にあつたりするので、そういう周知の仕方ですとか、もっと広げるとすればサークルを経由、文化協会のサークルとか高齢者の方が結構いるので、そういうサークル経由で対象の方にお渡しくださいとか、そういういろいろな今までにない周知の仕方もあるのではないかなと思ひます。

阿部委員長 今までの議会だよりや回覧板だけではなく、団体やサークルの方にも案内をかけて意見交換会に参加してもらえろというような形で考えていければと思ひます。ほかによろしいですか。(いいです。の声)

### (4) 事前アンケート

阿部委員長(説明) 13:51~13:51

よければ(4)の事前アンケートについて、まだ年齢等もはっきり決まておりませんが、かなり幅広くなるのかなと思ひます。

これまでは本当にある程度対象者を絞ってそちらのほうに出していましたがどうですか。

事前アンケートを再度やったほうがいいのか、次回予定している高齢者については、やらないほうがいいですか。その辺もある程度決められるなら決めておきたいと思いますが、どうですか。

— 主な協議内容等（質疑） — 13:52～13:56

金木副委員長 今までのパターンでいうと、あったほうが当日意見交換会も進めやすいとか、意見を出しやすい・出やすい形には持っていけると思うのですよね。どんな中身・量にするかは別としても、高齢者が対象だとしてもあったほうがいいのではないかと思います。

小寺委員 今までの流れをそのまま引き継ぐのであれば、今までも事前アンケートを基に会場に来てくれた方との交換をするというパターンが多かったので、もしやらないのであれば、またちょっと当日の運営の仕方変わってくると思うのですよね。事前アンケートをやってデメリットはなかったと思うのですよね。それがあつたことで話をもっと膨らんだりもしたので、自分はやる方向で進めたほうがいいのかなど。内容は別としてまずやる方向で進めて、内容についてはこれから出してもらおうふうにはなると思うのですけれども。自分はやったほうがいいのかなどと思います。

工藤委員 やったほうがいいと思います。高齢者ということであまり難しいアンケート用紙ではなく、ある程度簡単に書けるような仕組み。私もあまりわかりませんが、そんな感じのほうがいいと思います。

森議長 アンケートは大多数がやるという意見で。ただ絞り方にもよるけれども、進め方としてはテーマも全て幅広い、年齢も幅広いという形の中にそれを全部落として、今までと同じやり方でとなると非常に難しい部分があるので、そういった結果も見ながら、先ほど回数も含めていろいろ意見も出ましたが、今までと違う進め方も含めて今後検討が必要かもしれません。アンケート自体はやるということでもいいのではないのでしょうか。

阿部委員長 皆さん事前アンケートについては今まで通りやったほうがいいのかという

ことですが、時期的にもまだはっきりとは決まっていませんし、対象者を広くすることでアンケートの枚数や配布方法等、いろいろと検討しなければならない部分もあると思います。これについてはどういった方法がいいのかも含めて、今後検討・協議していきたいと思いますし、意見交換会の進め方として、ある程度こちらのほうで絞ってやるという方法によって、事前アンケートなしでもできるかもしれません。そういった部分も検討しながら、また委員会の中で協議して決めていきたいと思いますので、よろしいですか。(はい。の声)

#### (5) 離島地区での意見交換会

阿部委員長(説明) 13:56~13:57

それではまず、次の(5)の離島地区の意見交換会ですが、一応離島視察を今のところ7月から8月に予定しております。離島視察に行った際に意見交換会も、といった声もあります。

ただ、こちらについては実際行くかどうかまだ分かりませんし、その辺も今後決めていったほうがいいのかどうなのか。やるとすればどちらかが夜の開催、どちらかが昼の開催といった形になるかと思えます。どのように周知をするかも当然考えていかなければならないと思いますし、開催にあたってのテーマ等も考えなければいけないと思えます。

一応、離島視察に行った場合は意見交換会をやるということでよろしいですか。

—主な協議内容等(質疑)— 13:57~14:04

森議長 離島視察に関しては、昨日自粛のお願いということで出ていますので、それが解けない限り仮に熱がなくとも10人以上で行って、意見交換会となると何人か分かりませんが島民を集めるということが事実上でできない。また、行くこと自体も今の状況では判断できないのではないかと考えています。というのは、9月・10月は船の便数の関係で難しく、お盆なども例年は難しいということで、ある程度限られたときしか行ける日程がないのです。そういう部分ではそれを見ながら決めていくしかないですけれども、これこそさっきの問題よりも先に決めておかないと。もし行けた場合、意見交換会をやるやらないぐらいは最低決めておいたほうがいいと思います。

阿部委員長　まず、離島に行った場合に意見交換会をやるかどうか決めてしまいたいと思いますので。順番に。

金木副委員長　市街地区で8月に予定していた高齢者の意見交換会を延ばしておいて、島ではやるぞというのも、ちょっと統一性がない気がしますよね。島は小規模になるから島は島で別だよという考えもあるけれども、今ホームページにもいろいろと出ているように安全策をとって、島に行くことも含めてどうなのかなと考えるべきではないかと思います。

小寺委員　ずっとということではなくて、ホームページに載っている日程はまず4月7日から5月6日までの期間、来島の見直しをご検討願いますという話と、緊急事態宣言の対象となる都道府県にお住まいの方や体調のすぐれない方ということで、体調のすぐれない方は行けないわけですし、載っている期間は5月の6日までです。延長されるかも知れませんが、国の法律に基づき4月7日から5月6日までの期間について一応検討や延期をお願いしますというのが町の立場です。これを前提に話していて、先ほど金木委員がおっしゃった通り、8月以降に行く予定のものを今決められずに延期しようかという段階で、7月に先にやるということですよ。となると、ちょっと難しいのかなというのと、もし行けたとしても無理して2か所でやるとかではなく、やるとすればどちらかまず1か所でやってみるとか、そういう形でもいいのかなと思いますけど。ただ、議会として1度も意見交換会を島でやっていないので、やったほうがいいのかというのは前提にあります。コロナの影響があるのでそれが今年なのか来年なのか、もし来年も行く機会ができるのであれば、島民と話す機会もなかなかないのでやりたい前提ではいるのですけど。どっちつかずにはなってしまうのですが、やりたい気持ちはあるけど、現状と照らし合わせるとちょっとやるのは難しいかなと思います。

工藤委員　今のコロナウイルスの状況から見ると、おそらくこの地区は大丈夫であつても、東京を中心とした状況が完全におさまらないと、島に行つてということにはならないような気がします。今年できなければまた来年ということもあるので、今年はちょっと見合わせるという形でもいいかなと思います。

舟見委員 同じような意見ですね。

森議長 行く・行かないに関しては、基本的にこの委員会で決めることではないので、行く前提での話ということで意見を言ってもらえればなと思っていましたけれども、全体を通して、やはり仮に行くとしても完全に収まってないということを考慮したり、羽幌のほうを延期したりということでそういうふうにするのであれば、それはそれでいいと思います。ただ、前期の町の予算要求の中で、町側としては島に4年に1回しか行ったら駄目だというような話もあって、予算をはねられたこともあります。その辺のことで今年行って来年も行けるかというのは、予算要求は予算要求として必要があれば議会としてしますが、今から確定した話として進めるということは難しい部分もあると思いますので、その辺をちょっと考えておきながら、実施に向けて常任委員長も含めた中で考えていきたいと思いますのでご理解願います。

阿部委員長 一応、皆さんの意見を聞くと今回行ったとしてもやらないほうがいいといった感じでよろしいですか。それではまず、1つ目の町民との意見交換会についてはこれで終了いたします。

## 2 議会による町民アンケートの実施について

阿部委員長（説明） 14:04～14:05

次、2の議会による町民アンケートの実施について協議していきたいと思います。

議会の広聴活動として町民アンケートの必要性もあることから、ほかの市町村議会の調査方法も参考にし、広報広聴常任委員会の調査研究事項に今後は含めていきたいと思えます。

これについては、昨日行われました議員協議会のほうでも話が出ておりましたので、皆さん充分ご理解いただいているとは思えます。

まず議会が行うアンケート調査の目的として、アンケート調査は課題の数量化により課題の影響度を判定することができる。アンケート調査を行政だけではなく議会も行うことで地域課題の発見競争が可能となり、極力調査分析を議会議員が率先して行うことと、専門的知見の活用で地域課題に近づける。

米印で書いておりますけれども、先月行われました3月26日開催の「議会議員研修会政策立案と政策提言とは」より抜粋しております。

アンケート調査に向けての考え方と実施までの流れ

□アンケート調査に向けての考え方

阿部委員長（説明） 14:05～14:06

アンケート調査に向けての考え方と実施までの流れということで、まずアンケート調査に向けての考え方なのですけれども、こちらについても昨日皆さんには議員協議会のほうでも話がありましたので分かっていると思いますが、総務産業常任委員会、文教厚生常任委員会での協議、場合によっては特別委員会も入ってくると思いますし、広報広聴常任委員会での調査研究、議会全体での協議、議員協議会となります。

こちらについてはどうですか、いいですか。多分昨日言ったことと同じですのでよろしいですね。

□アンケート調査実施までの流れ

(1) 対象と目的

阿部委員長（説明） 14:06～14:07

それで、アンケート調査実施までの流れということで(1)の対象と目的。

調査対象が町民全体となるのか、年代で分けていくのか、性別で分けるのか。また、分野別いろいろな分野がありますので、そちらのほうを対象とするのか。調査目的として何を調査するのかといったことで調査項目となります。

目的と対象、目的が先で対象を絞る場合もありますし、対象が決まってから何を調査するのかということも出てくるかと思います。

これについてもそのまま進めていいですか。

(2) アンケート調査方法

阿部委員長（説明） 14:07～14:08

(2)のアンケート調査方法。

米印でほかの市町村議会を参考にすると書いております。広報広聴常任委員会では、この(2)の部分を担当することになるのかなと思います。

まず1つ目がアンケート用紙の作成。

2つ目がアンケート用紙の配達方法、個別配布であったり郵送であったり、また広報誌等にアンケート用紙を入れてといった感じになろうかと思います。

3つ目がアンケート用紙の回収方法。個別回収、郵送、回収箱の設置、持参など。

4つ目がその他インターネット等を活用してのアンケート調査といったことになろう

うかと思いますが、一応これについてもほかの市町村でもアンケート調査、住民アンケートをやっている議会がいくつもありました。しっかり調べきれてはいませんが、そういった市町村議会もありましたので、そういったところも参考にしながら今後決めていきたいと思います。それでよろしいですか。

### (3) 分析

阿部委員長（説明） 14:08～14:09

3つ目の分析。

これは委員会になるので議員がやったり、議会事務局。

で、もう一つが外注。こちらについても先月行われました議員研修会の中でも、講師の先生が Excel を使ってやったら簡単ですよとか、そういったこともありましたので、広報広聴常任委員会のほうでどういった感じがいいのかであったり、ほかの市町村議会のほうも参考にしながら決めていきたいと思います。これでよろしいですか。

ほかに町民アンケートについてありませんか。

— 主な協議内容等（質疑） — 14:09～14:10

森議長 おおむね今の流れでいいのですけれども、やはり外枠がある程度固まらないと進んでいきませんので、他町村の調査等をできるだけ早急に進めて、広報広聴常任委員会の部分のある程度詰めて、その上でそれを土台にして議員協議会等の中で方向を固めると。それから、内容について各常任委員会で進めるという流れにしたいと思いますので、今日、日にちまで決める必要はないと思うのですけれども、広報広聴常任委員会の準備についてはいろいろ忙しいですけれども、迅速に進めてもらう努力をしてもらいたいと思いますので、よろしくお願ひします。

阿部委員長 ほかの市町村議会がどういった形でやっているのかというのも、ある程度集まり次第、また次回そちらのほうも協議していきたいと思いますので、それでよろしいですか。ほかにありませんか。ないようですので、以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了といたします。お疲れ様でした。